

プログラム一覧		
2010年10月7日 困 オープニングセミナー		
OS1 9:00-10:00	歩行障害 司会：今井 壽正、大熊 泰之 共催：大塚製薬(株)	1. 歩行の生理 旭川医科大学 脳機能医工学研究センター 高草木 薫 2. 歩行障害の臨床 三重大学附属病院 神経内科 内藤 寛
OS2 10:00-11:00	Neuronal Brain Iron Storage Diseases 司会：宮嶋裕明、野村芳子 共催：大日本住友製薬株式会社(株)	1. 成人の Neuronal brain iron storage diseases 東京大学医学部附属病院 神経内科 辻 省次 2. 小児に見られる Neuronal brain iron storage diseases 神奈川県立こども医療センター 重症心身障害児施設・神経内科(小児神経) 山下 純正
OS3 11:00-12:00	パーキンソン病の睡眠障害 司会：瀬川昌也、竹島多賀夫 共催：エフビー(株)	1. 睡眠の正常と異常 獨協医科大学 神経内科 平田 幸一 2. パーキンソン病の睡眠障害 愛媛大学大学院医学系研究科 睡眠医学講座・広島睡眠クリニック 岡 靖哲
12:00-13:00	ランチョンセミナー 司会：祖父江 元 共催：協和発酵キリン(株) パーキンソン病の治療 日本の現状と将来：世界と日本の対比 国立病院機構 宇多野病院 澤田 秀幸	
OS4 13:00-14:00	MD の分子遺伝学の進歩、脊髄小脳変性症、パーキンソン病 司会：金澤一郎、下濱 俊 キッセイ薬品工業(株)	1. 遺伝性脊髄小脳変性症の現状：これまでとこれから 新潟大学脳研究所神経内科 西澤 正豊 2. PD の危険因子としての遺伝子異常 神戸大学大学院神経内科学 戸田 達史、佐竹 渉
OS5 14:00-15:00	Continuous Dopaminergic Stimulation 司会：鈴木則宏、宇川義一 共催：アボット製薬(株)	1. Continuous dopaminergic stimulation in Parkinson's disease Director Department for Parkinson's disease IRCCS San Camillo, Venice and University of Padua Italy Angelo Antonini 2. The evidence for continuous dopaminergic stimulation in Parkinson's disease University of Medicine & Dentistry of New Jersey, Robert Wood Johnson Medical School Mary Maral Mouradian
OS6 15:00-16:00	視床病変での不随意運動 司会：植木 彰、鎌倉恵子 共催：ノバルティスファーマ(株)	1. 視床運動核の生理、小脳ループ、大脳基底核ループの差と不随意運動 京都大学霊長類研究所統合脳システム分野 高田 昌彦 2. 視床病変での不随意運動 臨床 北里大学神経内科学 望月 秀樹
16:00-16:30	コーヒープレイク	
OS7 16:30-17:30	パーキンソン病の治療ガイドライン(改訂版) 司会：野元正弘、廣瀬源二郎 共催：グラクソ・スミスクライン(株)	1. パーキンソン病治療ガイドラインの総括 京都大学神経内科 高橋 良輔 2. パーキンソン病ガイドラインの問題点 香川県立中央病院神経内科 山本 光利
OS8 17:30-18:30	RLS 司会：井上雄一、西谷 裕 共催：日本ペーリンガーインゲルハイム(株)	1. Restless legs syndrome ー診断、病態、疫学を中心にー 鳥取大学 脳神経内科 野村 哲志 2. 二次性および疾患関連レストレスレッグズ症候群の現状と治療 福岡大学医学部神経内科学教室 坪井 義夫
18:30-21:00	懇親会	

プログラム一覧		
	2010年10月8日 金	2009年10月9日 土
8:00-8:30	教育講演1 司会：藤本健一、横地正之 1. パーキンソン病(PD)の視床下核刺激術(STN-DBS)による治療：長期経過(精神症状を除く)と問題点 日本大学 脳神経外科 片山 容一	教育講演2 司会：寺山靖夫、柏原健一 1. パーキンソン病の精神症状(うつ) 国立病院機構北海道医療センター神経内科 田代 淳
8:30-9:00	2. 経口摂取不可時の治療法 愛媛大学医学部附属病院 薬療・神経内科 西川 典子	2. MDS-UPDRS 和歌山県立医科大学神経内科 近藤 智善
9:00-11:00	シンポジウム1 司会：吉井文均、葛原茂樹 パーキンソン病と痛み	シンポジウム3 司会：服部孝道、國本雅也 パーキンソン病の自律神経障害(排尿障害、発汗)
	1. ドパミンシステムによる痛みの修飾 東京女子医科大学第一生理学 川上 順子、曾我部昌一、矢ヶ崎有希	1. パーキンソン病の自律神経障害ー排尿障害(基礎)ピッツバーグ大学医学部泌尿器科 吉村 直樹
	2. パーキンソン病と痛み 臨床 慶應義塾大学 神経内科 高橋 一司	2. 中枢神経系と排尿機能：パーキンソン病を含めて 東邦大学医療センター佐倉病院神経内科 榊原 隆次
11:00-13:00	3. 運動機能障害と痛み、外科治療の観点から 東京女子医科大学 脳神経外科学講座 平 孝臣	3. パーキンソン病の自律神経障害(排尿障害、発汗)発汗(基礎と臨床) 名古屋大学医学部附属病院検査部 平山 正昭
	討論	討論
11:00-13:00	ポスター討論・昼食	ポスター討論・昼食
13:00-15:00	シンポジウム2 司会：磯崎英治、中島健二 摂食・嚥下障害(PEGも含める可能性あり)	Controversy (13:00-15:00) 司会：田代邦雄、久野貞子
	1. 嚥下の生理 北海道医療大学心理科学部言語聴覚療法学科 西澤 典子	1. パーキンソン病の薬物治療はできるだけ早く始める方がよい YES 国立病院機構相模原病院神経内科 長谷川一子 NO 高知大学医学部老年病・循環器・神経内科学 大崎 康史
	2. パーキンソン病の嚥下障害 病態 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科 山本 敏之	2. L-dopa を使用する際は症状ができるだけとれるよう十分な維持量を使用すべきである YES 東海大学医学部神経内科 高橋 裕秀 NO 札幌麻生脳神経外科病院 神経内科 北川まゆみ
15:00-15:30	3. パーキンソン病の摂食・嚥下障害対策 兵庫医療大学リハビリテーション学部 野崎 園子	討論
15:00-15:30	コーヒープレイク	司会：菊地誠志、村田美穂
15:30-17:00	ビデオセッション 司会：横地房子、中野今治 1. ジストニアの見かた 徳島大学神経内科 梶 龍児	3. Wearing off のオフ時間とジスキネジアを比較すると、パーキンソン病患者のQOLを悪化させる作用の強いのは、wearing off のオフ時間である YES 宇多野病院神経内科 水田 英二 NO 順天堂大学医学部脳神経内科 服部 信孝
	2. ジスキネジア 北里大学神経再生医療学 水野 美邦	
17:00-17:30	総 会	
17:30-18:00	協賛企業との連携協議会	
18:30-22:00	イブニングビデオセッション 司 会：柴崎 浩、柳澤信夫 コメンテーター：宇川義一、梶 龍児、廣瀬源二郎、水野美邦	4. パーキンソン病患者の幻覚治療の第一選択薬はDonepezil である YES 東北大学医学部神経内科 武田 篤 NO 順天堂越谷病院 神経内科 森 秀生